

令和4年6月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会

日時： 令和4年6月4日（土）15：00～18：00

場所： ハービス PLAZA 5階（8,9,10号）会議室

参加者 38名（敬称略）

<会長> 藤本 啓治 <副会長> 小林 正之 白木 隆士 木下 裕介 堀口 泰輔 中谷 晃之
<理事> 明石 健一 榎本 誠 大成 浩征 荻野 晃 片岡 英一郎 河合 大五郎 河崎 美也子
貴島 浩二 岸本 成人 岸本 英樹 小坂 理也 越宗 勝 古瀬 洋一 清水 広太
神藤 佳孝 調子 和則 中野 晋吾 長谷川 利雄 邊見 俊一 前中 孝文 増田 博
宮口 正継 宮崎 浩 宮島 茂夫 宮田 重樹 村上 仁志 森下 忍 山口 眞一
山本 善哉 山本 哲 梁 裕昭 吉村 弘治 和田 孝彦
<監事> 黒田 晃司 栗本 一孝 森本 清一
<オブザーバー> 右近 良治

令和3年度3月 OCOA 理事会議事録の承認

中野 理事

第46回 OCOA 社員総会議事録の承認

中野 理事

令和4年度4月社員総会後理事会議事録の承認

中野 理事

上記3つの議事録案が資料で提示され、承認された

〔協議事項〕

1、研修会実施予定

堀口 副会長

第351回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和4年6月18日ハイブリッド開催 現地会場：リーガロイヤルホテル50名）

共催 小野薬品工業 16:00～ 受付 中野 晋吾 先生

講演1：「新しい関節リウマチ診療ガイドラインとアバタセプトの位置づけ」座長：梁 裕昭 先生

演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生・再建学講座 整形外科

准教授 西田 圭一郎 先生

日整会 N1、6、R 日医 9、61

講演2：「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」座長：荻野 晃 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 講師 武中 章太 先生

日整会 N7、13、SS、日医 4、60

日本リウマチ学会2単位（講演Ⅰ、Ⅱ各1単位）日本リウマチ財団2単位（講演ⅠⅡまとめて）

日本リハビリテーション医学会専門医1単位、認定臨床医10単位（講演Ⅱ）

第352回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和4年7月9日 ハイブリッド開催 現地会場 ANA クラウンプラザホテル大阪 100名）

共催 ファイザー製薬 17:00～ 受付 吉村 弘治 先生

講演1：「変形性関節症における慢性疼痛とその治療」座長：森下 忍 先生

演者：島根大学医学部整形外科学教授 内尾 祐司 先生

日整会 N1、12、R 日医 61、73

講演2：「股関節痛に対する治療～人工股関節全置換術の変遷～」座長：森下 忍 先生

演者：医療法人河端病院 整形外科 部長 末原 洋 先生

日整会 N6、11、R 日医 9、62

日本リウマチ学会：2単位（講演ⅠⅡ各1単位）日本リウマチ財団2単位（講演ⅠⅡまとめて）

令和4年7月17日（日）、18日（月）第35回日本臨床整形外科学会学術集会（徳島）

第353回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和4年8月20日 ハイブリッド開催 現地会場 ANA クラウンプラザホテル大阪 100名）

共催 旭化成ファーマ 16:00～ 受付 和田 孝彦 先生

講演1：「外来でよく見かける足部足関節のスポーツ障害と慢性疾患」座長：宮田 重樹 先生

演者：奈良県立医科大学整形外科学教室 准教授 谷口 晃 先生

日整会 N2、12、S（スポーツ医）申請中 日医 61、73 申請中

講演2：「何から始める？いつまで続ける骨粗鬆症治療 ーテリパラチド vs.BP 剤の大規模試験 ATOP-JOINT05 で見えてきたことー」 座長：大成 浩征 先生

演者：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 斎藤 充 先生

日整会 N1、4、SS 日医 9、77 日本リウマチ学会1単位（講演Ⅱ）

日本リウマチ財団1単位（講演Ⅱ） 日本骨粗鬆症学会5単位（講演Ⅱ）

令和4年9月17日（土）第354回研修会：第一三共 受付 大成 浩正 先生

講演1：「骨卒中予防の現状と課題 ～2次骨折予防の重要性～」座長 清水広太 先生

演者：鳥取大学医学部 保健学科 教授 萩野 浩 先生

講演2：「神経障害性疼痛と腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン2021」 座長 越宗 勝 先生

演者：大阪公立大学大学院医学研究科 総合医学教育学・整形外科学 准教授 豊田 宏光 先生

令和4年10月22日（土）第355回研修会：帝人ヘルスケア 受付 梁 裕昭 先生

講演1：「（未定）」 演者： 座長 宮口 正継 先生

講演2：「手のしびれや麻痺を生じる末梢神経や神経根の障害」 座長 村上 仁志 先生

演者：関西電力病院主任部長 太田 壮一 先生

令和4年11月12日（土）第356回研修会：久光製薬 受付 宮島 茂夫 先生

講演1：「」座長： 小林 正之 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 准教授 海渡 貴司 先生

講演2：「Two-incision THA 文化人類学的ミカタ」 座長：中塚 映政 先生

演者：和歌山県立医科大学 整形外科 講師 西山 大介 先生

令和5年1月21日（土）or 28日（土）スポーツ研修会

（JHCO 大阪病院から3名の講師を予定）

令和5年2月18日（土）第357回研修会：科研製薬 （場所 大阪公立大学医学部講堂を予定）

講演1：（未定）

講演2：「（未定）」 演者：大阪医科薬科大学 整形外科学教室 准講師 岡本 純典 先生

3、理事会資料のペーパーレス化について

中野 理事 宮田 理事

メリット：会議にかかる手間の削減、資料修正の簡素化、事前に閲覧可能、印刷不要、
情報漏洩リスク低減、会議のリモート化

デメリット：会員間での IT 親和性に差、資料の一覧性の低さ、メモの取りづらさ

以上のことを踏まえ、理事会資料をペーパーレス化にする方向で決定。さらに、理事会資料の作成方法を効率よくするために、議案担当者自身が目次に添って貼り付けて資料を作成していく、などの提案があった。それぞれの具体的な方法については理事会資料担当委員にて継続審議を行う。

4、OCA 理事会議事録作成方法の変更案

中野 理事

理事会資料ペーパーレス化、資料作成方法の効率化と併せて、理事会議事録の作成方法を効率よくするために、議案担当者が作成するなどの提案があった。議事録担当委員にて継続審議を行う。

5、会報の PDF 化について

調子 理事

令和 4 年度事業計画「広報・情報活動」に会報誌の PDF 化が盛り込まれた。

会報の PDF 化（製本無し）を現在の会報作成印刷会社に外注すると高額であった。

PDF 化すると会報誌における広告収入はなくなる。

まずは、ホームページ委託のローカルサポートに今年度の資料を預けて PDF を試作してもらい、紙媒体希望者には割安なネット印刷を利用する、など広報委員会でさらに検討する。

6、会員名簿のデータベース化とホームページへの掲載について

調子 理事

- ・名簿費用（約 50 万円）の削減と将来の広告収入減少に備える。
- ・名簿は 2 年ごと更新発行しているが、WEB 名簿では随時変更が可能（改訂日を記載する）。
- ・紙媒体を希望する会員へは、ホームページからダウンロードし印刷して送付。
- ・ホームページリニューアルに合わせて対応を計画。

7、大阪府鍼灸マッサージ師会 生涯研修会における講師派遣について

増田 理事

大阪急性期総合医療センターの先生に依頼 白木副会長に一任する。

8、阿倍野区医師会講演会に対する後援依頼について

神藤 理事

阿倍野区医師会講演会「大腿骨近位部骨折に関する病診連携セミナー」

～令和 4 年度診療報酬改定に伴う二次性骨折予防継続管理料の算定連携～

主催：大阪市阿倍野区医師会 後援：大阪鉄道病院 大阪臨床整形外科医会

後援依頼があり承認された

9、令和 4 年度セラピスト資格継続研修会

山本(善) 理事

(1)開催計画進行状況

* 令和 4 年 10 月 30 日（日）12：00～16：30 大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール

* 講師選定 および 演題の選定

（大阪公立大）明石 健一 先生 上肢のリハビリテーション

(大阪医薬大) 山本 善哉 先生 ロコモティブシンドローム・運動器不安定症

(関西医大) 大窪 博 先生 下肢の機能と転倒予防のリハビリについて

(大阪大) 史 賢林 先生 脊椎のリハビリテーション

* 日本運動器科学会への申請 未(7月中予定) 資格継続単位 4 単位

* 広報 OCOA 研修会案内に同封 OCOA ホームページへの掲載 7 月末ごろ

* 受付方法 8 月下旬から予定、一次受付 担当理事がメールで受け付け、必要書類送付→

受講希望者が書類返送し、OCOA へ受講料振込 → 受講はがき送付

* 定員について

会場はソーシャルディスタンスで 90 人が定員、ロコモコーディネーター研修会は並行開催せず。

* 出務人数・予定 (敬称略)

委員長(山本(善))、会長(藤本)、担当(堀口)、会計(中谷)

セラピスト委員(受付 2 人 会場設営 4 人) 明石 榎本 大成 荻野 清水 吉村

(2) 収支計画 収支 ¥91100 (収入) 参加費 ¥380,000

(支出) 申請料 ¥10,000 事務経費 ¥118,900 講師料 ¥120,000 出務費 ¥40000

10、ロコモ健康フォーラムについて

大成 理事・木下 副会長

令和 4 年 11 月 19 日(土) 13:30 開場 14:00 開始 阿倍野区民センター

講師 木下、宮田、リピート山中 総合司会 大成 開会挨拶 藤本 閉会挨拶 木下

予算について 産経新聞社のデッドライン 220 万(講師料 30 万 新聞特集+掲載費 150 万など)

OCOA より 65 万 残り 155 万をメーカー協賛(1 社 10 万で 16 社)

趣意書について、産経新聞社にて作成予定(内容は常任理事会に一任、まずテーマを決める)

(出務) 森本、小林、白木、神藤、中谷、中野 (すべて敬称略)

11、リクルート委員会 第 1 回、第 2 回整形外科新規開業者講習会

邊見 理事

・開催場所: 株式会社メディカルアシスト 税理士事務所 ONE A (発信費用、場所代も不要)

・対象: 新規開業予定の勤務医、OCOA 会員

・募集方法: チラシを配布(OCOA 研修会案内に同封、KSK や大阪府医師協同組合など)

・5 月: 募集開始 6 月末: 募集締め切り 7 月 2 日/7 月 30 日: 研修会実施

* 第 1 回整形外科新規開業者講習会 令和 4 年 7 月 2 日 16:00~

・セッション① 雇用の基礎~採用とトラブル防止について~

社労士しみずオフィス 清水 広明 座長: 神藤佳孝

・セッション② ホームページの活用~新時代のメディカルプロモーション~

株式会社ヒーローイノベーション 上村 大輔氏 座長: 邊見 俊一

・セッション③ 運動器リハビリテーションの導入と運用 吉村 弘治 先生 座長: 邊見 俊一

* 第 2 回整形外科新規開業者講習会 令和 4 年 7 月 30 日 16:00~

・セッション④ クリニック開業における物件選定について

大阪府医師協同組合開業支援課 恵莊 正庸氏 座長: 片岡 英一郎

・セッション⑤ 医療法人化のメリット・デメリット

税理士事務所 ONE A・株式会社メディカルアシスト 高塚 皓理氏 座長: 邊見 俊一

- ・セッション⑥ 査定されない外来診療～保険診療とは

社会医療法人緑風会緑風会病院 理事長 杉本 瑞生 氏 座長：邊見 俊一

1 2、会員動態

白木 副会長

前回理事会 令和4年4月16日（正会員488名）以降

新入会 1名

久保 卓也 先生 令和4年5月14日 入会 正会員 大淀

退会 1名（内正会員0名特別会員0名）

（上野 憲司 理事 令和4年4月12日付けで閉院、退会）

武田 十四也 先生 令和4年 5月 20日 退会 正会員 松原

令和4年6月4日現在

正会員 488名（5/14松矢浩司先生が特別会員へ）

特別会員 7名（うち3名がJCOA名誉会員）

顧問（現役教授）7名（菅本一臣教授 令和4年3月31日定年退官で名誉会員になる予定）

特別顧問 1名 茂松 茂人 府医会長（正会員）

名誉会員（元教授等）9名

合計 511名（JCOA名誉会員が計5名）

JCOA正会員は 490名

（OCO A正会員488名+OCO A特別会員7名=495名-JCOA名誉会員5名）

1 3、JCOA 審査委員

藤本会長

OCO AからのJCOA保険審査委員が資料で提示された

社会保険審査会委員10名、国民健康保険審査会委員5名、労災保険審査会委員10名、
柔整審査会委員（社保）4名（国保）7名

1 4、その他

藤本会長

特になし

[報告事項]

1、全国ストップ・ザ・ロコモ協議会 令和4年度通常総会 5/29・東京 長谷川理事

- ・ロコモ年齢について

ロコチャレの事業：スマホからロコモ年齢を算出する（若年者への啓発）

- ・フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言について

日本医学会連合が健康寿命の延伸を目的としてフレイル・ロコモ克服のための宣言

- ・第31回日本医学会総会博覧会（2023年4月東京）について

ロコモ・フレイル予防ブースの企画運営がSLOCに任された

2、令和4年度 JCOA 各県代表者会議 5/29・東京 藤本会長

- ・運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の受診調査報告及び7回目の実態調査のお願い
6回目のアンケート調査結果が小児運動器疾患管理料算定年齢の拡充（12歳未満⇒20歳未満）につながった。
- ・検診機器を用いた側弯症検診における地域連絡協議会について
日本側弯症学会から、検診機器を用いた地域差のない側弯症検診を全国で実施するため、JCOAと協力体制を構築したいとの要望があった。
- ・「骨と関節の日」のテーマと各県臨床整形外科医会等の活動について
令和4年度テーマは「フレイル・ロコモ克服のためのロコモの取り組み～北から南まで」

3、整形外科医政協議会 令和4年度 JCOA 各都道府県代表者会議 5/29・東京 藤本会長

- ・令和4年度診療報酬改定について（新井）
今回（令和4年度）の改定はプラス改定であったが、2年後のトリプル改定時は不詳。医政協議会の活動が重要。

4、令和4年度 JCOA 定時社員総会 5/29・東京 藤本会長

- ・名誉会員の承認について
山添 好宏 先生（三重）大田 修 先生（広島）相原 忠彦 先生（愛媛）東 明彦 先生（三重）
- ・役員の選任について、25名の役員を選任した。
- ・表彰者の報告 学術奨励賞 神藤 佳孝 先生（大阪）

5、令和4年度 JCOA 合同プログラム委員会 4/10・TV 堀口 副会長

理事会審議付帯事項

- ・第35回学術集会（徳島）について
（1）開催方針について、現時点では通常現地開催を予定している。懇親会は検討中。
（2）開催概要
会議名：第35回日本臨床整形外科学会学術集会 心おどる阿波学会 徳島
会 期：2022年7月17日（日）・18日（月・祝）
会 場：アスティとくしま（〒770-8055 徳島市山城町東浜傍1番地1）
テーマ：「伝承から創生へ～健やかな地域社会を造るために～」
会 長 岡田祐司（徳島県臨床整形外科医会会長／城東整形外科内科院長）
（副会長）田村阿津王（実行委員長）橘 敬三（学術委員長）遠藤健次（事務局長）酒巻忠範
学術集会シンポジウム演題の日臨整誌への投稿について
第35回 JCOA 学術集会（徳島）で企画されているシンポジウムの中で、会員の関心が深いと思われるシンポジウムについて、「特集」として雑誌に掲載することについて提案があった。

6、令和4年度 JCOA 臨時合同プログラム委員会 4/28-5/2 電磁的 堀口 副会長

理事会審議付帯事項

- ・第35回学術集会シンポジウム演題の日臨整誌への投稿について

合同プログラム委員会にて協議を行い、下記シンポジウムの5つのセッションの演者ならびに演題について承認が得られ理事会に上程する。シンポジウム1「リハビリテーションの最前線」

7、web研修会におけるアナライザー費用として支払われる座長謝金について新理事へのお願い

木下副会長・中谷副会長

この議案については、理事会で議題に挙げるべきでは無く、個別に対応すべき案件との指摘があり、議案を取り下げた。

8、令和3年度第2回JCOA学会雑誌編集委員会

3/22・TV 山口 理事

・委員会決議事項

雑誌投稿規程集の変更について

規程集を次のとおり変更することとし、雑誌第118号から適用する予定とした。

- (1) 非会員からの学術集会で発表されていない論文の受付の是非を、本委員会内で決定できるように、規程集内の著者資格を「本学会雑誌編集委員会が認めた者」へ変更。
- (2) 非会員からの国際化プロジェクト論文への投稿に関し、英訳費用の自己負担に疑義が生じないように、投稿規程集内の該当部分を理解されやすい文言に変更、追記する。
- (3) (2)に併せ、投稿規程集内の「著者」の表記に関し、読者に疑義が生じないように、必要な部分を適切な表記に変更する。
- (4) 国際化プロジェクト論文での著者校正は、和文原稿で1回のみ行われているが、英訳後の英文原稿でも行うこととし、計2回実施することとした。
- (5) 利益相反(COI)に関する指針及び利益相反に関する規則に対する改定案を、投稿規程集に掲載する。

投稿論文・査読のシステム導入および業務委託についての検討について

論文の受付から査読、編集、印刷までを業務委託によるオンライン化とする提案が事務局から提出され、審議の結果、全会一致で賛同し、今後システム導入に関し検討していくこととした。

・委員会報告事項：

1. 非会員から投稿された国際化プロジェクト論文の英訳費用の取扱いについて
学会雑誌投稿規程集の文言不備を認め、今回に限り無料と承認された、の報告
2. 雑誌第118号の進捗状況について
羽成守弁護士からの投稿は「解説」として掲載予定
発刊は令和4年5月末をめどにしている。

9、令和2.3年度各委員会理事長諮問事項答申（学術雑誌編集委員会）

山口 理事

- ・第32回、33回学術集会終了1年以内で日臨整誌は発刊、第34回もその予定。
- ・日臨整誌投稿規程において、引用文献の記載を文中の引用順に変更、非会員による投稿論文の受付は理事会ではなく学術雑誌編集委員会内で決定、投稿規程集内の著者の表記に関し疑義が生じないよう適切な表記に変更等 が報告された。
- ・査読委員会の所管は学術委員会から学会雑誌編集委員会へ移管された。

- ・JCOA 会報は学術雑誌ではないため JCOA 会報掲載記事の日臨整誌への投稿は二重投稿には該当せず可能との見解が示された。

1 0、利益相反自己申告書提出の電磁化による投稿規定見直しについて 山口 理事

COI 自己申告書がオンラインにて可能となり、今後、日本臨床整形外科学会雑誌投稿論文の査読も含めすべてをオンライン化していく方針が提議され承諾された。

1 1、令和 4 年度第 1 回 JCOA 理事会及び整形外科医政協議会執行委員会 4/24・東京 貴島 理事

【審議事項】

- ・令和 3・4 年度入退会状況について会員数減少（令和 3 年度新入会女性会員は 8 名と増加）
- ・令和 3 年度会計監査結果、令和 4 年度予算、事業計画及び事業日程（案）、各県代表者会議、定時社員総会の開催形式および令和 4・5 年度裁定委員会委員候補者等、令和 4 年度定時社員総会で承認予定の事項についての報告および承認がされた。
- ・成人脊柱変形に対する運動療法の効果を検討する多施設研究への当学会協力依頼については、プロトコール等を調べた上で再審議となった。
- ・SLOC は認定 NPO 法人であるため例年通り、会員に一般寄附の案内を出すことが承認された。
- ・令和 4 年度学術研究助成に関して、JCOA 学術委員会での審査の結果、「検査機器を用いた脊柱側弯症検診の調査、研究 - 実施後の学童、学校のアンケート調査を含めた包括的研究」が推薦され、承認された。

【各種報告事項】

- ・令和 3 年度運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査結果報告（6 年目）された。
2494 例の報告があり、受診勧告理由は側弯の疑いが 83.4%で最多で診断結果も側弯症が 50.0%と多く、次に異常なしが 38.1%であった。今年度の調査では、下肢の拘縮（身体の硬さ由来）4.5%、足関節障害（捻挫・骨折等）1.8%と多く、新型コロナウイルス感染症の影響により、しばらく運動ができず、柔軟性が失われた状態で急に運動したことに起因すると考えられた。診断後の事後措置では、異常なし 38.1%、指導観察 50.1%で手術は 0%であったが、他専門医紹介が 3.9%（n=98）あり手術症例も含まれていると考えられる。
- ・日本学校保健会発行の「子供の運動器の健康 ―学校における運動器検診の手引―」について紹介があり、学校現場や内科学校医の先生にも周知の依頼がされた。（日本学校保健会のホームページにて閲覧が可能）

【日整会報告事項】

- ・日整会の年代別の女性会員数と割合について、女性医師の日整会会員が若い世代ほど多く、40 代以下では 10%以上を占め、特に 20 代では 14.8%に上ることが報告された。

1 2、令和 4 年度第 2 回 JCOA 理事会及び整形外科医政協議会執行委員会 5/29・東京 貴島 理事

【審議事項】

- ・理事長・副理事長の選定が行われ、新井貞夫理事が理事長に、
副理事長に奥村栄次郎理事、長谷川利雄理事、松原三郎理事、五味淵聡志理事が選定された。

- ・各種委員会委員等の委嘱が承認され OCOA からは、古瀬（病院 WG）、堀口（学術委員会、利益相反管理委員会、利益相反小委員会）、宮島（学会雑誌委員会）、山口（学会雑誌委員会）、神藤（社会保険委員会、災害医療チーム検討委員会）、前中（医療システム委員会）宮崎（医療システム委員会）、邊見（総務委員会）、白木（IT 委員会）、吉村（運動器リハ・介護保険検討委員会）、宮田（SLOC 連携委員会）、長山（国際交流員会）が委嘱され承認された。

1 3、令和 4 年度第 1 回 JCOA 医療システム委員会

5/11・TV 宮崎 理事

【協議・検討事項】

- ・令和 4 年度 JCOA シンポジウムについて
 - 1) 日程は、12 月 4 日（日）品川プリンスにて対面方式での開催を予定
 - 2) テーマは「接骨院・整骨院における慢性疾患への施術」とし、講師は清水秀一先生（整骨院の横暴の著者）
- ・WEB 広告に対する対応についてアキレス腱断裂治療院について報告がされた。
- ・慢性の痛み基本法案が提議されているが、①慢性の痛みに係る医療者に医療類似行為者が含まれている ②慢性の定義があいまいである ③本法案に整形外科医が関与していない 以上の問題点があることを指摘、奔走した結果、今回の法案提出は見送りとなった。

1 4、第 25 回 OCOA テニス部会

5/22・大阪 岸本（成） 理事

江坂テニスガーデンにて開催（参加者 11 名）、今後年 2 回開催予定

1 5、療法士会実績報告

白木 副会長

勉強会 4 回（オンライン 3 回、対面 1 回）

療法士会延べ参加者 49 名（非会員 185 名）に関する収支決算報告が行われた。

1 6、研修会報告

堀口 副会長

第 348 回大阪臨床整形外科医会 WEB 研修会（令和 4 年 3 月 26 日 WEB、カメラ ON、E-TEST 無）

共催 中外製薬 視聴者数 124 名（会員 92 名 非会員 32 名）

第 349 回大阪臨床整形外科医会WEB 研修会（令和 4 年 4 月 16 日 WEB）

共催 大正製薬 視聴者数 127 名（会員 97 名 非会員 30 名）

第 350 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 4 年 5 月 14 日 ハイブリッド開催）

共催 エーザイ 現地会場：エーザイ(株)大阪コミュニケーションオフィス

視聴者数 150 名（会員 107 名 非会員 43 名 うち現地会場 43 名）

1 7. その他

特になし

この議事録は、
定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 4 年 6 月 4 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

藤本 啓治



監事

黒田 晃司



監事

栗本 一孝



監事

森本 清一



////////////////////////////////////

[医政協議会の議題として]

自見はな子先生のサポーター名簿協力について

長谷川 理事

- ・自見はな子先生を日本医師連盟として推薦している。
- ・サポーター名簿への署名協力および選挙の結果は 2024 年度診療報酬（トリプル改訂）へ大きく影響することが予想されるなか厳しい現状を報告された。